

## 令和6年度国立大学法人東京海洋大学第1回経営協議会議事要録

日 時 令和6年6月27日（木）14：00～16：35

場 所 楽水会館 大会議室（品川地区）及び Webexによるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井上委員、河村委員、関根委員、松本委員、  
吉武委員、舞田理事、金岡理事、村上理事、工藤理事、渡辺理事、  
岡安学術研究院長

オブザーバー 青山監事、久保田監事、婁副学長、南学長補佐、後藤海洋生命科学部長、  
元田海洋工学部長、宮本海洋資源環境学部長

事務担当者 永井総務部長、塚本財務部長、笹田学務部長、平尾総務課長ほか事務関係者

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1 学長選考・監察会議委員の選出について

舞田理事から、学長選考・監察会議委員の選出について、国立大学法人東京海洋大学学長選考・監察会議規則第2条第1項第1号に基づき同会議委員を選出したい旨の説明があり、審議の結果、学長選考・監察会議の議論の継続性の観点から井上委員、本学卒業生であり各界における専門性を有し学長の業務執行状況評価の継続性の観点から関根委員、松本委員を引き続き選出するとともに、国公立大学における管理・経営面に精通しているという観点から吉武委員を新たに選出した。

#### 2 令和5年度第4期中期目標・中期計画に係る自己点検・評価報告書について

学長から、資料2に基づき、令和5年度第4期中期目標・中期計画に係る自己点検・評価報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 3 令和5事業年度決算について

村上理事から、資料3-1から3-3に基づき、令和5事業年度決算について説明があり、その後、久保田監事から、資料3-4に基づき、令和5事業年度監事の監査報告書及び会計監査人の監査報告書について報告があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 4 令和7年度概算要求事項について

村上理事から、資料4に基づき、令和7年度概算要求事項について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

- 次世代船舶運用技術開発センター（以下「センター」）の3つの研究分野は、すでに民間等においてかなり進んでいる状態である。本学が何をするのか目標・目的を明確にし、本学の専門性を活かして、存在価値を見つけていくことが重要である。
- 民間企業や政府機関等、協力機関の助言をいただきつつ、社会のニーズ等を考慮し、本学が目指していることを明確にしていきたい。
- 概算要求資料には、どのような人材を育成するのか、具体的な内容を記載した方が良い。
- 人材育成に資することが本センターの重要な役割であるので、次世代船舶を運用できる船員を育成するためにセンターが果たす役割について概算要求調書にも反映したい。

#### 5 水圏生殖工学研究所の改組に伴う東京海洋大学学則等の一部改正について

岡安学術研究院長から、資料5に基づき、水圏生殖工学研究所の改組に伴う東京海洋大学学則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

- 本研究所で行ってきた幹細胞による養殖技術の研究を進めるにあたり、魚病の問題が必ず出てくるため、今回の組織改編により、感染症制御部門を新設する意義は大変大きい。海洋環境が急激に変化している状況の中、養殖事業を拡大していくためには、魚病の研究は非常に重要である。本学にはその役割が求められており、ぜひ強力に進めてもらいたい。
- 大学としては、持続可能な養殖の推進は重要なテーマだと考えており、海の研究戦略マネジメント機構で策定した研究戦略の中でも重点的に取り組む分野として取り上げており、学長裁量経費によるトップダウン型研究でも実施している。本学では魚病に関する世界トップクラスの研究が行われているため、それを本研究所で集約し推進していきたい。

#### 【報告事項】

- 1 監事候補者の選考結果について  
舞田理事から、資料6に基づき、監事候補者の選考結果について報告があった。
- 2 令和5年度監事監査報告について  
久保田監事から、資料7に基づき、令和5年度監事監査報告について報告があった。
- 3 第4期中期計画の変更の認可について  
学長から、資料8に基づき、第4期中期計画の変更の認可について報告があった。
- 4 令和6年度国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の確認について  
村上理事から、資料9に基づき、令和6年度国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等の確認について報告があった。

5 令和5年度教員の個人活動評価実施結果について

岡安学術研究院長から、資料10に基づき、令和5年度教員の個人活動評価実施結果について報告があった。

6 役員の報酬及び職員の給与の水準の公表について

村上理事から、資料11に基づき、役員の報酬及び職員の給与の水準の公表について報告があった。

7 令和5年度資金管理実績について

村上理事から、資料12に基づき、令和5年度資金管理実績について報告があった。

8 令和6年度入学者選抜状況について

舞田理事から、資料13に基づき、令和6年度入学者選抜状況について報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○本学は海洋というユニークな分野における貴重な理工系人材を育てているが、学部学科によっては女子学生比率が低いところも見られる。女性の理工系人材を増やしていくために、学生・研究者両方についてどのような施策がとれるか検討いただきたい。

●女子学生比率は学部によって20～50%と異なるが、海洋工学部が最も低く、船舶職員に関する分野では少ない状況である。しかし、最近は女性の船長も出てきており、本学でも海洋会にも協力いただきOGによるセミナーを開催するなど、女子学生獲得のための施策を実施しており、海洋工学部流通情報工学科において女子学生枠の設定ができないか検討を開始したところである。

9 令和5年度卒業・修了者の進路状況について

婁副学長から、資料14に基づき、令和5年度卒業・修了者の進路状況について報告があった。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○博士後期課程修了者の就職先について、東京海洋大学へ就職している人が多いようだが、博士後期課程修了者のキャリアパスはどのような状況であるか。

●博士後期課程進学者はアカデミックな就職先を希望している学生が多いため、このような進路状況となっている。博士後期課程進学者のキャリアパス支援として、本学の「創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト（SPRING事業）」において採択された学生を対象に、セミナー等により多様なキャリアパスを実現する取り組みを、キャリア支援センターを中心に行っている。

10 「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」について

村上理事から、資料15に基づき、「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」

について報告があった。

#### 11 その他

井関学長から、大学発ベンチャーの認定にかかる審査状況について報告があった。

以上

## 配付資料

- 国立大学法人東京海洋大学経営協議会委員一覧
- 令和6年度第1回経営協議会座席表
- 国立大学法人東京海洋大学経営協議会規則
- 令和6年度東京海洋大学経営協議会開催日程
- 令和5年度第5回経営協議会議事要録（案）
- 資料1 学長選考・監察会議委員の選出について
- 資料2 令和5年度第4期中期目標・中期計画に係る自己点検・評価報告書（案）
- 資料3-1 令和5事業年度の概要（決算）
- 資料3-2 令和5事業年度財務諸表
- 資料3-3 令和5事業年度事業報告書及び決算報告書
- 資料3-4 令和5事業年度監事の監査報告書及び会計監査人の監査報告書
- 資料4 令和7年度概算要求事項（案）について
- 資料5 水圏生殖工学研究所の改組に伴う東京海洋大学学則等の一部改正について
- 資料6 監事候補者の選考結果について
- 資料7 令和5年度監査報告
- 資料8 国立大学法人東京海洋大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）の変更の認可申請について
- 資料9 「国立大学法人ガバナンス・コード」にかかる適合状況等の確認について
- 資料10 令和5年度 東京海洋大学における教員の個人活動評価の実施結果について
- 資料11 国立大学法人東京海洋大学の役職員の報酬・給与等について
- 資料12 令和5年度資金繰実績報告
- 資料13 令和6年度東京海洋大学入学者選抜状況
- 資料14 令和5年度卒業・修了者の進路状況
- 資料15 国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー